

## ネイチャーセンター ガイド (94)

### 「博物館として」

ネイチャーセンターは、博物館相当施設として平成5年10月に開館しました。

近年では、「自然体験を提供する施設」として都留市内外にPRをしています。今でもなお博物館としての活動を地道に続けています。

例えば、山を歩くことは自らの目や感覚を養うことにつながります。歩くことはセンター活動の8割ぐらいを占めるものです。なぜかといいますと、「自然の日々刻々と変化する移り変わりを肌で感じるができる」からです。その後、自然というものを人に伝える媒体役として、感じたことを絵や言葉にしたり、展示にしたり、何かをひらめいたり無駄なことなどひとつもないのです。

あとの2割ちょっとは何をしているかというと、動物の死体を収集し、剥製作りや頭骨作りをしているのです。これは、肢、耳、尾、体長、体重計測し、性別を調べ記録に残しておきます。写真の撮りかたも決まっているんですよ。剥製づくりもなかなか難しい作業ですよ。記録をとることでデータを収集し、自然の移り変わりを敏感に察知している野生動物たちの死体から自然を学び、皆さんに情報をお届けしているのです。

大事なことを忘れていました。博物館には、学芸員という肩書きをもつ職員が常駐しています。わたしもその一人です。学芸員と簡単にひ



とくくりにしても、さまざまな技術や

専門知識をもった方々があります。美術、民芸、工芸、造形、歴史、考古学、埋蔵、自然科学など多岐にわたるのです。ここで重要なのは「専門分野・専門知識」ということです。そう学芸員とは「何かの技術に長けている人材」なのです。「その分野のスペシャリスト」なのです。だから学芸員なのです、と私が勝手に定義してしまっ

てはいけませんね。  
私の専門分野は小動物の生態研究。野生動物の動きを野外で観察し、「なぜ」や「なぜ」を見つけ、疑問を解くために仮説を立て、実験と観察を繰り返し、数十年かけて、動物の動きや生活サイクルにあわせ、森の中で観察をしていくということです。長くなりました。野生を野生のままに、こうしてムササビ研究から「ヒミズ」というモグラに似た生き物の観察をしています。この話をしたら何日でも話は尽きない自信があります。それだけなぜが多く、解明されていない生態が「ヒミズ」には秘められているのです。

人は、森だけでなく野生動物ともつながっていることを研究で学びました。

連絡・問合せ先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター  
開館時間：午前9時から午後4時まで  
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

## 詐欺にご注意ください

電力会社の社員を装って家庭を訪問し、「点検」と称して金銭を要求する詐欺が起っています。

むやみに対応せず、電力会社に確認するなどして被害に遭わないように注意しましょう。

### 犯行の手口

- ブレーカー調査などの名目で上がり込み、すきみて金品を盗む
- 漏電調査などの名目で器具の修理や取り替えを行い、多額の請求をする
- 集金員を装い、「電気ご使用量のお知らせ(検針票)」を使って、電気料金を支払うよう要求する



必ず電力会社に確認  
しましょう。

問合せ先

都留警察署 生活安全係 ☎(45)0110